

事務事業マネジメントシート(令和 4年度実績と令和 5年度計画)

令和 6年 1月 9日 更新

事務事業名		施設維持管理事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	自治の健康		所属部	議会事務局	課長名	米澤 伸仁
	施策	2	行政改革の推進		所属課	議会事務局	担当者名	水野 隆文
	施策の柱	10	開かれた議会の推進		所属班	議会班	(内線)	1311
予算科目	会計一般	款 1	項 1	目 1	事業連番 10932	根拠法令		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 4年度で終了 <input type="checkbox"/> 4年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	議会運営に対応して、議会施設・設備の管理運営を行う。 平成2年庁舎新築により、議場、委員会室を設置、併せて録音機器を設置した。合併後、議員数の減少により議場内議席を撤去し、常任委員会の増により委員会室や録音機器を増やした。本会議場の機器設備の老朽化が見られたため、平成21年度中に音響設備関連機器の全面的な改修を実施した。 平成28年度に委員会室3部屋及び全員協議会室の録音機器(マイク、録音装置等)について、経年劣化や不具合が生じていたので、機器の更新を行った。 また、平成30年度には、会派室及び合志庁舎3階のWi-Fi設置環境整備を行った。
【業務の流れ】	年度当初に録音機器点検業務の委託契約を行い、6月定例会前を目安に点検を行う。不具合が見つかった場合は、補正予算等で予算措置をして、修繕・入れ替え等を実施する。
【主な予算費目】	委託料
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 4年度実績(4年度に行った主な活動)(DO)	本会議場及び委員会室等の録音機器の点検を実施し、不具合箇所の有無の確認および調整を行った。	5年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 委員会室等の録音機器の点検を1回実施する。 本会議場の音響映像機器についてリース契約による更新を行う。 本会議場のカーベットの更新工事を行う。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 日 → ア: 本会議、委員会等の開催日数 イ:	予算の主な増減の理由 【拡充事業】本会議場の音響映像システム更新のため賃借料の増、本会議場カーペット更新のため工事請負費の増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	議場及び委員会室等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) → ア: 部屋数 部屋 イ: 機材数 台
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	適正な管理運営により、施設設備の性能を維持する。	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) → ア: 会議中のトラブルの件数 件 イ:
*③成果指標設定の理由と5年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
本会議及び委員会等の音声・映像を適切に記録、保存するための設備であり、会議中のトラブル発生の有無により施設管理の状態を判断する。		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	2年度実績(決算)	3年度実績(決算)	4年度目標(当初予算)	4年度実績(決算)	5年度目標(当初予算)	6年度予定	7年度見込	8年度見込	
① 活動指標	ア 日		58	55	100	59	100	100	100	100	
	イ										
② 対象指標	ア 部屋		5	5	5	5	5	5	5	5	
	イ 台		6	6	6	6	6	6	6	6	
③ 成果指標	ア 件		0	0	0	0	0	0	0	0	
	イ										
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A) 事業費計	一般財源	千円	385	385	385	385	10,021	9,908	9,908	9,908
		(A) 事業費計	千円	385	385	385	385	10,021	9,908	9,908	9,908
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(B) 人件費計	千円	1,025	977	1,035	685	1,035	1,035	1,035	1,035
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,410	1,362	1,420	1,070	11,056	10,943	10,943	10,943		

事務事業名	施設維持管理事業	所属部	議会事務局	所属課	議会事務局
-------	----------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は4年度の事後評価、ただし複数年度事業は4年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 4年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	② 5年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 本会議場の設備の更新を計画しているため、達成の見込みはついている。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 本会議場の映像音響機器について更新を予定しているため、機器選定において誤操作の起こりにくいもの、耐久性のあるものなど本市の利用に合った機器を選定できる。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 録音機器等特殊なものがあり、連携できない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 更新について、費用を平準化するよう政策推進本部会議で指摘があった。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 点検業務は業者に委託して行っており、職員の人件費は最低限であるため、削減の余地はない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 受益者負担を求める事務事業に該当しない。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 行政が行う分野であるため、移行できない。

3 評価結果の総括 (CHECK)

本会議場の映像・音響機器更新について準備ができた、本市に最適な機器をプロポーザルにより選定したい。改選のタイミングで更新できると良かった。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						